

1. 科目名 (単位数)	情報科指導法Ⅱ (2単位)		3. 科目番号	EDIT3345
2. 授業担当教員	唐沢 俊光			
4. 授業形態	講義、演習および実習		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「情報科指導法Ⅰ」を履修し、単位修得していることを前提とした授業である。			
7. 講義概要	本講義は、高等学校教諭免許状「情報」を取得しようとする学生を対象とし、高等学校・教科「情報」の指導法の基本的事項について学習する。「情報科指導法Ⅱ」では、「情報科指導法Ⅰ」で学習したことを基礎として、教材作成や指導案の作成、模擬授業の実施、評価の仕方等について実習を通して実践的に学習する。			
8. 学習目標	情報科指導法Ⅰで学習したことを踏まえ、実際に授業計画立案や教材・教具開発に必要な知識・技能を身に付けられる。			
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	学生ごとに教科「情報」の模擬授業を実施する。授業そのものに加えて、事前準備やリハーサル、事後ディスカッション等に対する積極的な参加も評価対象である。「情報科指導法Ⅰ」で実施した模擬授業(ショー・トレクチャー)の反省を踏まえ、よりレベルの高い実践的な模擬授業を求める。			
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 山極隆監修『最新社会と情報』実教出版、2015年。 山極隆監修『最新情報の科学』実教出版、2015年。 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説情報編』文部科学省、2019年。 <b>【参考資料】</b> 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示 文部科学省)			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教材作成や指導案の作成ができるか。 2. 模擬授業を実施し、生徒を評価できるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 平常点(模擬授業、授業への積極的な参加・小テスト・レポート等) 50% 最終考課(テストもしくは最終課題) 50%			
12. 受講生へのメッセージ	これまでに学習した内容を各専門分野も含めて総動員となるので、復習しながらの学習となると思われます。情報科教員になるためには、情報に関する幅広い知識をもとに、それらをどのように指導していくかを考えなければなりません。「情報科指導法Ⅰ」で学んだ知識を最大限に活用し、様々な授業案を検討・実践することを期待します。受講生が、新しい教育方法や考え方に積極的に挑戦することを期待します。			
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	イントロダクション 教科「情報」の概要と高等学校教育課程における位置づけ	事前学習	学習指導要領解説を読み、「情報科指導法Ⅰ」で学習した内容を復習しておく。	
		事後学習	教科「情報」が扱う学習範囲について整理し、まとめておく。	
第2回	教科「情報」の専門領域・実践事例調査(1) 取り扱うトピックの選定と概要調査	事前学習	教科「情報」が扱う学習範囲から、自分が調査したいトピックを考慮しておく。	
		事後学習	自分が選択したトピックについて、専門的見地からの情報収集や事例調査等を実施しまとめる。	
第3回	教科「情報」の専門領域・実践事例調査(2) トピックの詳細調査とレポート作成	事前学習	自分が選択したトピックについて、専門的見地からの情報収集や事例調査等を実施する(前時からの継続課題)。	
		事後学習	調査レポートを完成させる。	
第4回	教科「情報」の専門領域・実践事例調査(3) 調査レポートに基づく発表とディスカッション 情報の科学的な理解に関するトピック	事前学習	作成したレポートを元に、発表準備を行う。	
		事後学習	他の受講生が発表した内容を復習し、それらのトピックについて自分の考えをまとめる。	
第5回	教科「情報」の専門領域・実践事例調査(4) 調査レポートに基づく発表とディスカッション 情報社会に参画する態度に関するトピック	事前学習	作成したレポートを元に、発表準備を行う。	
		事後学習	他の受講生が発表した内容を復習し、それらのトピックについて自分の考えをまとめる。	
第6回	模擬授業(第1ターム)の実施(1) 年間指導計画と単元指導計画の作成	事前学習	模擬授業で取り上げたい単元や学習内容を検討し、その内容が年間指導計画や単元指導計画にどのように位置づくか検討しておく。	
		事後学習	年間指導計画と単元指導計画を完成させる。	
第7回	模擬授業(第1ターム)の準備(2) 指導案の作成、授業の練習	事前学習	模擬授業の学習指導案を作成するための資料等を収集する。	
		事後学習	模擬授業の学習指導案を完成させ、教材等を準備し、授業の練習をする。	
第8回	模擬授業(第1ターム)(1) 情報の科学的な理解に関する模擬授業の実践と相互評価	事前学習	模擬授業の発表準備をする。	
		事後学習	相互評価を元に、自分自身の授業実践を振り返り、よりよいものにするための見直しと改善案をまとめる。	
第9回	模擬授業(第1ターム)(2) 情報社会に参画する態度に関する模擬授業の実践と相互評価	事前学習	模擬授業の発表準備をする。	
		事後学習	相互評価を元に、自分自身の授業実践を振り返り、よりよいものにするための見直しと改善案をまとめる。	

第10回	模擬授業（第1ターム）の振り返り 工夫点と改善点の確認、改善案の検討	事前学習	自分や他の受講生の模擬授業を振り返り、それぞれの実践について工夫点や改善点を整理しておく。
		事後学習	本時のディスカッションを元に、自分の授業の改善方をまとめる。
第11回	模擬授業（第2ターム）の実施(1) 年間指導計画と単元指導計画の作成	事前学習	模擬授業で取り上げたい単元や学習内容を検討し、その内容が年間指導計画や単元指導計画にどのように位置づくか検討しておく。
		事後学習	年間指導計画と単元指導計画を完成させる。
第12回	模擬授業（第2ターム）の準備(2) 指導案の作成、授業の練習	事前学習	模擬授業の学習指導案を作成するための資料等を収集する。
		事後学習	模擬授業の学習指導案を完成させ、教材等を準備し、授業の練習をする。
第13回	模擬授業（第2ターム）(1) 情報の科学的な理解に関する模擬授業の実践と相互評価	事前学習	模擬授業の発表準備をする。
		事後学習	相互評価を元に、自分自身の授業実践を振り返り、よりよいものにするための改善案を検討する。
第14回	模擬授業（第2ターム）(2) 情報社会に参画する態度に関する模擬授業の実践と相互評価	事前学習	模擬授業の発表準備をする。
		事後学習	相互評価を元に、自分自身の授業実践を振り返り、よりよいものにするための改善案を検討する。
第15回	模擬授業（第2ターム）の振り返り 工夫点と改善点の確認、改善案の検討 今後の教科「情報」の実践は 何を指すべきか	事前学習	自分や他の受講生の模擬授業を振り返り、それぞれの実践について工夫点や改善点を整理しておく。
		事後学習	学習内容を総復習し、理解を深めるためにまとめる。実際に教員になったときの姿をイメージし、自分の実践をさらによりよいものにするための方策を具体的にまとめる。